

経営比較分析表（平成28年度決算）

新潟県津南町 津南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
10,059	7,163	第2種該当	10：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

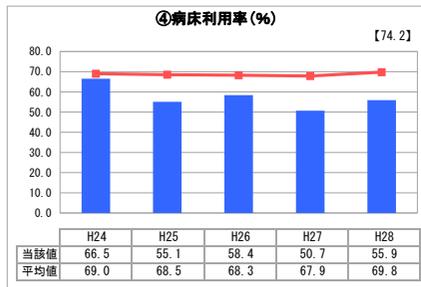
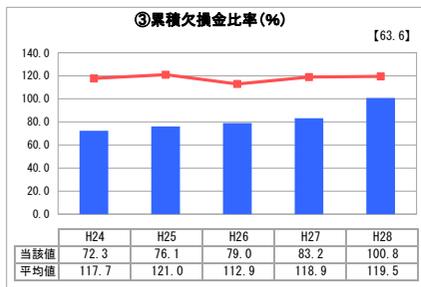
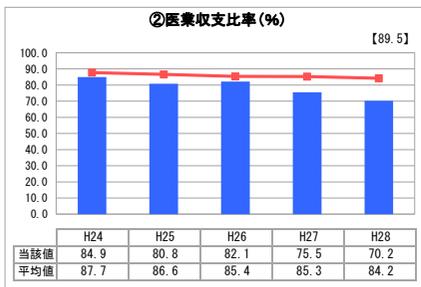
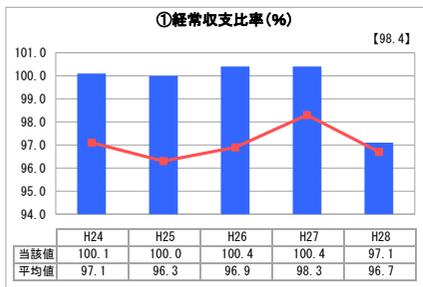
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
62	52	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	114
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
43	-	43

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

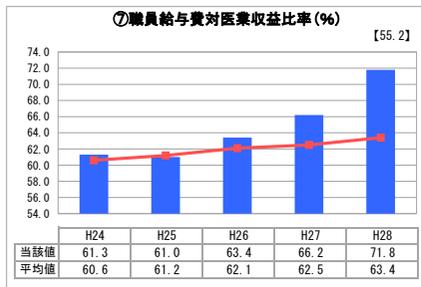
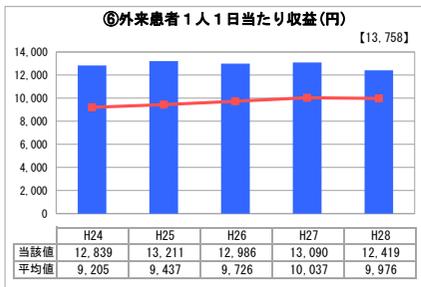
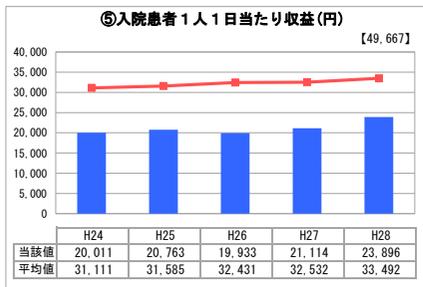


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



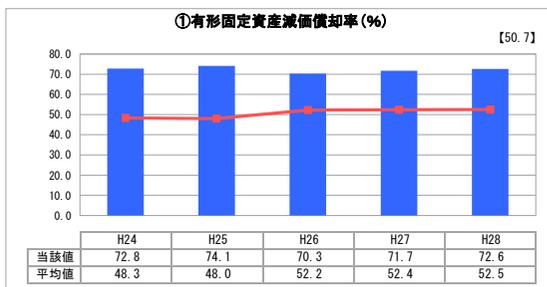
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

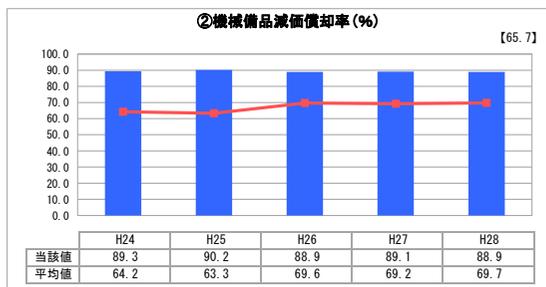
「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

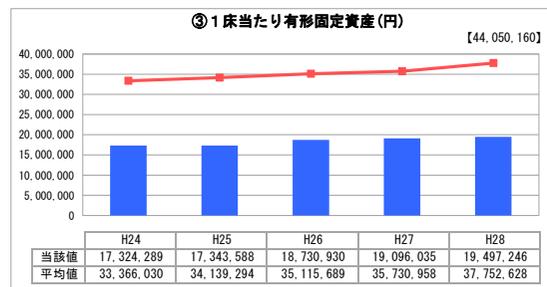
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当町は新潟県の最南端に位置し長野県と境を接し、山間へき地・豪雪地といった民間医療機関の立地が困難な過疎地であり、当病院が町内唯一の病院として津南町はもとより長野県北信地域、十日町市旧中里・松之山地域の医療を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当病院は②医業収支比率が平均値よりも低水準で推移しているのに対し、①経常収支比率は高くなっており、一般会計からの繰入金に依存した経営体質となっています。

平成28年度は、看護師不足によって一般・療養の2病棟体制を維持することが困難となり、療養病棟を休床したことにより収益が減少し、医業収支比率が過去5年間で最も低い数値となっています。またそれに伴い、③累積欠損金比率、⑦職員給与費対医業収益比率、⑧材料費対医業収益比率が高くなっています。

2. 老朽化の状況について

昭和52年に建設された当病院は施設の老朽化が進んでおり、①有形固定資産減価償却率が平均値よりも高く、同様に②機械備品減価償却率も高くなっています。

施設・設備の老朽化が進んでいますが、経常収益では更新投資を行うことができない厳しい経営状況にあります。

全体総括

当病院は医療困難地域において町内唯一の病院として診療体制を維持するために内科以外の診療科を全て非常勤医師で賄い、その人数は延70名を超えています。そのことが経営圧迫の要因の一つでもあり、経営の安定化を図るために常勤医師と収益の確保に向けた取組が課題となっています。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。